

令和5年度 第3回南部町総合教育会議 議事録

- 1 開催日時 令和6年2月28日（水） 午前10時00分 開会
午前11時50分 閉会
- 2 開催場所 南部町役場本庁舎 2階 大会議室
- 3 出席者
 - ・町長 佐野 和広 ・教育長 入月 一巳 ・教育長職務代理者 望月 正宏
 - ・教育委員 山本 純司 ・教育委員 望月 聡美 ・教育委員 渡邊 正志
- 4 事務局等の出席者
 - 町長部局 秘書政策監 滝 基成 総務課長 渡辺 雄治
 - 教育委員会事務局 学校教育課長 若林 将基 生涯学習課長 遠藤 賢
- 5 協議事項
 - (1) 南部地区小学校の適正配置について
 - (2) 第2次南部町教育振興基本計画について
 - (3) 令和5年度教育委員会特別重点施策評価及び令和6年度特別重点施策について
 - (4) その他
- 6 議事経過の概要
 - 次のとおり

1 開 会 （望月正宏教育長職務代理者）

皆さん、おはようございます。本日は総合教育会議に出席いただきありがとうございます。適正配置について、令和5年3月に町長に具申してから1年が経ちました。この間、事務局の計画をもとに順調に進み、元旦の町長の年頭のあいさつで町民の皆さんにお知らせすることができました。今後は、準備委員会を立ち上げて検討し令和8年度の開校が出来ればいいと思います。その他に今日の議題は教育行政の根幹ともいえる教育振興基本計画などが予定されていますので、宜しく申し上げます。ただいまから第3回総合教育会議をはじめます。

2 町長あいさつ

おはようございます。元旦には、能登半島の地震が発生しましたが、本町でも被災地に職員を派遣しました。当該職員は大きな衝撃を受けたと話しています。また、数日後職員を派遣する予定です。我が町にも起こることですので、現地での経験を町の防災に生かしていきたいと思います。2月23日に富士川かりがね橋の開通イベントがあり、雨天でしたが地元の多くの方々が参加し、期待は大きいことが伺えます。3月9日の開通式には、静岡県知事をはじめ、国会議員が出席するなかでセレモニーが開催され、私も出席し謝辞を申し述べる予定です。わが町にとっても、影響は大きくこれを機に益々交流が深まって富士市との距離が無くなることで、来町される方も増えればありがたいと思います。また、別件では、今後、上徳間で事業を行う方々が来庁され、アルカディア美術館で宮西先生の作品などを案内しました。その方々から町の教育と文化の素晴らしさなどを内容とする御礼文をいただ

きました。今後も、教育と文化を中心に据えて行政を行っていきたいと考えていますので、本日の会議も忌憚のないご意見をお願いします。

3 教育長あいさつ

本日は、ご出席いただきありがとうございます。私も勤務が富士市旧富士川町であったので、かりがね橋には思い入れがあります。一年の総括と次年度の準備をするこの会議にお忙しいところお集まりいただきありがとうございます。小中学校の卒業式まであと僅かになりました。教育委員会で3年目になりますが、人的な面でも物的な面でも、南部町は非常に恵まれているなと思います。そういう良さを、今までに出席した各種の会議で話してきました。教育委員会でもそれらの期待に応えられるように、一流の田舎まちを、一流の教育を目指して頑張っていかなければいけないなと思っています。本年度最後の会議ですが、重要な議事がありますので、町の施策との整合性を図りながら、思いを自由に述べていただきたいと思います。では、本日も宜しくお願いします。

4 議事

(1) 南部地区小学校の適正配置について

【学校教育課長が、配布した資料に基づき説明しました。これまで経過について説明しました。統合決定については、対象校の保護者に通知したこと、3月広報であらためて周知することを報告しました。統合準備委員会について、要綱、組織、協議事項について説明しました。校舎の改修について、経過、改修内容の検討、予算等について説明しました。外構工事についての方向性について説明しました。】

(町長) 期間がありませんので、計画的に進める必要があります。改修の財源はどうなっているか。

(学校教育課長) 財源は、統合に係る国庫補助金と過疎対策事業債を予定しています。国庫補助金の対象経費に外構工事は含まれません。

(町長) 他町では庁舎や新校舎の建築などが行われている例もありますが、富沢小の実績を踏まえて予算やスケジュールを検討してほしいと思います。

(望月(正)委員) 改修工事期間の子どもたちの学校生活はどうなるのか。

(学校教育課長) 富沢小の例では、統合前年度の春から工事をはじめ、夏休みを有効に活用し有人工事で行いました。校舎を部分的に工事していく方法でした。机などの設備の移動については、保護者に協力してもらいました。睦合小の工事については、細かい内容がまだ決まりませんが、打ち合わせのなかであがった意見には、有人工事では制限されたなかでしか出来ないため、仮校舎を建てるという案もでました。ただし、仮校舎の建築には多額の費用が掛かる見込みです。別の無人工事の方法として、一定期間の2校児童が栄小学校で合同授業を行うということも一つの案としてあがっています。しかし、この方法の制度的可否や保護者の理解、教職員の理解、児童の負担面、通学方法、学校運営の支障等、課題が多くあります。

(望月(正)委員) 課題も多いが、費用面ではどうか。

(学校教育課長) 合同授業を行う場合は、通学にスクールバスを運行する必要があるのでその費用が掛かりますが、仮校舎の建築の費用よりはるかに少額になりと見込んでいます。

(町長) 有人工事の場合、子どもの事故などの心配もありますし、無人工事の方が効率的に行な

えると思います。

(山本委員) 富沢小改修時とは、物価上昇があつて当時の費用では出来ないし、校舎の大きさも違うので今回は費用も掛かると思います。工事の騒音などもあると思いますので、栄小で合同学習をすることで、スムーズに開校できるし、事前に課題点も見つかるかもしれません。ただ、施設面での改修も必要になるのかなと思います。先生方の協力は必要だが、統合のすり合わせが細かいところまでできるメリットもあるのかなと思います。また、睦合小の保護者が栄小を見てくれたり、地域の方が興味関心を持って来校されることも期待できます。

(望月(正)委員) 想定される期間はどのくらいか。

(学校教育課長) 夏休みから2学期までが想定されます。

(渡邊委員) そうするのであれば、なるべく早く決定して、早く周知した方がいい。合同授業ということでしょうか。

(山本委員) 県教委に確認すべきだと思います。合同授業は、授業だけでみると担任が2名でTTで授業ができるなど、目が行き届くのではないかな。

(望月(正)委員) 2校の教員の授業内容や方法のすり合わせが必要であると思います。

(学校教育課長) 準備委員会を新年度に設立する予定です。そのなかでも、協議していきたいと思います。

(望月(聡)委員) 準備委員会の委員はどのようにして決めるのでしょうか。また、体操着についてはどうようになるか。また、衣料店組合との連絡調整も必要ではないでしょうか。

(学校教育課長) 準備委員会の委員の人選については、保護者代表は推薦してもらう形をとっています。また学識経験者は、前は教員OB、公務員OBなどに依頼していました。体操着については、一斉に新しいものにするのはせず、新旧が混在する期間を設け、段階的に移行することを考えています。衣料店組合にも随時情報提供をしていきたいと思います。

(望月(正)委員) 校名や通学支援、災害時の対応を考えると、地域代表として例えば区長さんに入っていただくこともいいのではないかな。

(学校教育課長) 検討していきます。

(山本委員) 教育課程を編成していくのに、両校の特色ある行事をうまくすり合わせて、地域との関連性を大事にしていきたいと思います。一方、文科省が授業時間の変更を中教審に諮問する予定との報道を見ました。小学校は45分を40分に、中学校は50分を45分にするもので年間80時間が生み出せるといいます。その時間を学校独自で授業や活動に充てるというもので、新小学校が開校した数年後にはそうなる可能性があるのでは、その点も念頭に置きながら対応していく必要があると思います。

(望月(正)委員) 総合的な学習で地域に根ざした学習を増やそうとする意見もあると聞きます。

(山本委員) いい事だとは思いますが、意義や目的を考えて進めていただきたい。

(渡邊委員) 準備委員会の作業部会のなかでは、南部町の良さを生かせるような教育課程を教育大綱なども参考にしながら検討をしていただきたい。

(町長) 教員の志願者減少や教職員の多忙化から考えると、授業時間の短縮等の制度変更は、学校現場が混乱してしまわないか心配であります。

(山本委員) そこで挙げられていたのは、2007年以降、キャリア教育、金融教育、ICT教育、英語の教科化などの制度が学校においてきて、こなしていくために大変でしたが、これらをその80時間に組み込んでいけば、効果的に使えるのではないかなと思います。

(教育長) 適正配置については、課題がいくつかでましたので、今後またひとつひとつ解決していきたいと思います。

(2) 第2次南部町教育振興基本計画について

【教育長が、第2次南部町教育振興基本計画の改定案の資料を用いて、これまでの協議経過や内容について説明しました。今日の会議で決定することを確認しました。また、計画の概要版を作成したことを報告しました。計画の周知方法について説明しました。】

(山本委員) 概要版についてはコンパクトにまとめられていますし、これを見ることによって教育委員会の目指す方向性の理解はもらえると思います。質問は教育委員会にいただき更に本体計画で詳細な説明ができるという形がいいし、逆にいろいろな意見ができれば、なおいいと思います。先日、議会基本条例の逐条解説の冊子が配布されましたが、非常にわかりやすかったです。情報発信は紙ベースでいただけるといいし、ホームページの掲載なども含めて、町民に対する情報発信は必要であります。

(町長) 南部町が目指す教育や町づくりについては、今後、DX推進課を創設し取り組む予定であります。情報発信で定住などにも良い影響を持っていくと思います。すぐには結果は出ないと思いますが、DXについて職員の意識を変え、それが町にも広がっていくことを期待しています。

(教育長) では、ご理解をいただいたということで、この計画及び概要版をもって正式版とさせていただきます。

(3) 令和5年度教育委員会特別重点施策評価及び令和6年度特別重点施策について

【教育長が、令和5年度教育委員会特別重点施策評価、令和6年度特別重点施策の資料に基づき説明しました。】

(望月(正)委員) 今年一年間の様子を見ていて、生涯学習課のイベントやスポーツ活動についてコロナ以前に戻ってきていて、担当課の頑張りを感じます。担当職員の仕事へ前向きに向き合っている姿勢がいいなと思いました。

(教育長) そのようなことから、生涯学習・生涯スポーツの評価の前年度より上昇しています。

(渡邊委員) 中学校部活動の地域移行は、難しい課題だとは思いますが、教員の負担などを考えるとできるものから地域移行に向けてやっていただきたい。

(山本委員) ある県の教職員に部活動の負担についてアンケートをした際、70%の教職員は負担だと答えていました。国が、部活動の地域移行についてしっかりと学習指導要領に規定することが必要だと思いますし、また、学校だけでなく生涯スポーツも含めた方針を打ち出すべきだと思います。

(望月(正)委員) ヨーロッパと違うため、日本の学校では取り入れることが難しい。だから国の英断でやらなければならないと思います。多忙化もあるが少子化問題も起因していて、山梨県の他自治体がモデルとして行っているやり方は、地形など違う本町とは合致しないので、難しいと思います。

(山本委員) 進まない要因として人不足と資金不足があげられます。

(学校教育課長) 地域的に民間事業者や総合型地域スポーツクラブ等との連携が難しい本町にあっては、町が中心に推進していかないと成り立っていかないと思います、男女バレーボ

ール部で外部指導者を設置していますが、それらにより先ずは教職員の負担軽減を図りながら、それを足掛かりとして地域に移行していきことになると思います。また受け皿は、町内の指導者や団体と連携していくこととなります。今後、学校と教育委員会で検討を進めていきたいと思っています。

(教育長) 令和6年度の教育方針ですが、基本理念は、「広い視野をもちふるさと南部を支える人づくり」です。特別重点施策は7項目をあげています。重点施策は、生涯学習・生涯スポーツ、学校教育と地域の教育力の項目で、資料に記載してあるそちらの事項をあげています。

(教育長) では、この方針を基に新年度は進めていきます。

(4) その他

特になし

5 閉 会 (山本委員)

お疲れ様でした。大谷選手が活躍していますが、野球だけでなく、その言動と行動、そして愛されるキャラクターなど全てが揃っているなと思います。おそらく成長過程のなかで、まず家庭教育があって、スポーツ指導があって、学校教育があって、そして彼のマンダラチャートに人生が集約されていて、まだそのシートを遂行しているということだと感じました。そうすると教育の原点は、家庭にもあり、学校にもあり、そして地域にもあるのかなと思いました。それでは、以上で南部町総合教育会議を終わります。お疲れ様でした。

以上